

B21		最終更新日		2025年4月4日
プログラム名 (40字以内)	ケニアスタディーツアー ～リアルなアフリカへの第一歩～			
団体名/所属	本学学生（活動指導職員:坂田一郎教授研究室 村田幸優 学術専門職員）			
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接	
募集人数	12人	選考対象	大学院学生を含む	
活動方法	現地活動のみ			
参加者に求めるもの	現地での説明を聞いてしっかりと理解できる英語力があることが望ましいです。また、観光ではなくスタディーツアーですので、現地のことについて主体的に調べ、質問し、学び取る姿勢を歓迎します。			
活動期間	2025/9/11(木)～9/21(日)	主な活動予定場所	ケニア(ナイロビ、ロイトキトク、モンバサなど、参加者の興味に応じて調整可能)	
プログラム実施の目的	最後のフロンティアと言われるアフリカ大陸。人口の平均年齢19歳であり若い世代の能力を充分活かす必要がありますが、様々な分野において経済成長を遂げた先進国の経済的・技術的協力も要します。このような状況下、先進国日本の高い教育を受ける若い人達がアフリカの問題やポテンシャルを体験し、自分の将来にアフリカをどのように位置付け、関わり、協力しあえるかをケニアでの現地体験を通じて考える機会を持ち将来、アフリカや世界を舞台に活躍する人材輩出の一助となることが目的です。			
具体的な内容(800字程度)	ケニアには、机上の議論を超えて実際に現場に行ってみないとわからない現実があります。そんなありのままのケニアを見て体験して考える機会を提供します。 スタディーツアーを企画し現地で案内してくれるのは、柏原ルミコさんです。在ケニア・在マラウイ日本国大使館の草の根委員などを経験されており、ケニアに住んで13年になります。 ビジネス、文化歴史、国際協力、自然など様々な観点から、ケニアを掘り下げていきます。 ・ケニアの現地で活動するNGOや現地の団体を訪問し、地域の課題の現状および団体の取り組みを体験し考える。 ・ケニアの主要産業の一部（主に農業・観光業など）や 過去に実施された日本の経済協力・地域開発プロジェクトを訪問する。 ・サファリへの訪問を通して、アフリカに生息する豊富な野生動物の美しさや彼らの生きる知恵を学びながら環境保護などについて考える。 ・多様な民族を知り、それぞれの文化や伝統・慣習を学び、人間の多様性を学び、尊重の重要性について考える。 ・ケニアのもつポテンシャルを体験し、将来的な自分の活動や取り組みについて考える。 ・ケニアの歴史的な大地の育みや人間の歴史などを見て知って考える。 ・参加者確定の1ヶ月後程度までは参加学生の興味に応じて訪問先を調整することも可能です。 ケニアはアフリカの中では比較的治安の良い国ですが、それでも自力で渡航する際は多くの危険が伴います。現場のことを知り尽くした人の案内のもとで、現地のセキュリティもツアーに同行するので、現場感と安全性の両方が担保されたスタディーツアーになっています。 ナイロビの中でも危険レベル2の地域(スラムがある場所)は目的地に入れていません。ナイロビで宿泊する際も、レベル1で治安の良い場所を選んでおります。			
【総額】参加するための費用	2,500 米ドル			
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	300 米ドル			
【内訳】参加するための費用(交通費)	1500米ドル			
【内訳】参加するための費用(その他)	700 米ドル			
奨励金額(予定)	80,000円			
備考	・日本からの往復航空券は早い時期に予約すると安く済みます。早ければ15万円程度、直前になると20万円程度になることが多いです。黄熱病やマラリア、狂犬病など、感染症に気をつける必要があります。ケニアの場合予防接種は義務ではありませんが、打っておくと安心です。その場合また別途で費用がかかることになります。 ・ケニアでは衛生状況が日本とは異なります。また、長時間の移動に伴ってトイレ休憩が頻繁にできない場合もあります。可能な限り各個人に配慮しますが、体調管理について不安がある方は事前にご相談ください。 ・安全対策について、Cyrusさんというケニア人の現地の方が常に同行してくださります。加えて、こちらで雇ったケニア人の運転手の方が車を運転していただき、移動は基本的に全てdoor to doorとなります。日本人の集団は現地でも目立ちますので、公共交通機関などを使わないことで、不要なトラブルを避ける狙いがあります。 ・渡航直前の2025年8月にはTICAD9が横浜で開催されますので、スタディーツアー参加者には関連機会の案内を共有する予定です。 ・質問などがあれば、以下の二人のいずれかに気軽にいつでもご相談ください。 プラート アルヴィン(東京大学工学部4年・alypraet@gmail.com) 柏原ルミコ(rumiko.kashihara125@mail.com)			
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://drive.google.com/file/d/1kQ9y5vC3YYi3Hjx9DA0ZjRBFqRXXznUP/view?usp=drive_link			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)				
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加しない			